

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり	施策	③ 交通安全対策の推進	
			施策の小項目名	○交通安全環境の整備	
主な取組	交通安全施設等整備事業			実施計画記載頁	138
対応する主な課題	⑤交通安全対策として、交通安全施設の整備に加えて老朽化した信号機や道路標識、消えかかっている道路標示等の更新について充実強化する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
安全で円滑な道路交通を確保するために、交通信号機の新設・改良・更新、交通管制システムの充実・高度化、管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化、高度道路交通システム(ITS)の整備のほか、道路標識、道路標示の新設・更新に取り組み、交通安全環境の整備を推進する。						789基 (累計)
実施主体	県	交通信号機、道路標識等の更新等				
担当部課【連絡先】	警察本部交通部交通規制課 【098-862-0110】	交通管制システムの高度化				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 交通安全施設管理費							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 交通安全施設の応急修繕費用及び適正な運用のため、保守管理委託等を行った。 ○H30年度: 交通安全施設の応急修繕費用及び適正な運用のため、保守管理委託等を行う。
県単等	直接実施	—	360,091	325,664	295,115	282,976	296,725	県単等	

予算事業名 交通安全施設整備事業費(補助事業)							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、交通信号機新設8基、改良・更新273か所、道路標識1,442本など、交通安全施設の整備を行った。 ○H30年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、引き続き、交通信号機の改良・更新250か所、道路標識1,152本など、交通安全施設の整備を行う。
県単等	直接実施	815,997	893,018	904,688	1,122,905	657,873	675,257	県単等	

様式1(主な取組)

予算事業名 交通安全施設整備事業(単独事業)							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画			
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源				
県単等	直接実施	148,665	203,190	241,197	231,953	269,333	221,005	県単等			○H29年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、交通信号機新設4基、改良・更新132か所、道路標識356本など、交通安全施設の整備を行った。 ○H30年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、引き続き、交通信号機の新設3基、改良・更新73か所、道路標識60本など、交通安全施設の整備を行う。	
予算事業名 交通安全施設整備事業(沖縄振興)							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画			
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源				
県単等	直接実施	254,474	80,951	68,343	157,141	5,001	—				○H29年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、路側道路標識35本、横断歩道1km、実線2kmなど、交通安全施設の整備を行った。 ○H30年度: —	
予算事業名 信号機電源付加装置整備事業							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画			
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源				
県単等	直接実施	—	—	34,055	36,000	36,000	36,000	県単等			○H29年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、信号機電源付加装置を15基整備を行い、交通安全施設の整備を行った。 ○H30年度: 安全で円滑な道路交通を確保するため、引き続き、信号機電源付加装置(リチウムイオン電池式)を20基を整備する。	
活動指標名	交差点信号機の集中制御化				H29年度			H29年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				1,251,183	順調
活動指標名	—				H29年度							
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	—	—	進捗状況の判定根拠と取組の効果 交差点信号機の集中制御化については、平成33年度目標値789基に対し、平成29年度時点で757基を整備しており、達成率は約96%となり、「順調」に推移している。また、新設道路の供用に合わせた集中制御化を行うなど、交通の安全と円滑化を図った。		
活動指標名	—				H29年度							
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	—	—			

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況

平成29年度の取組改善案	反映状況
<p>①業務の一部外部委託や交通安全施設をデータベース管理するなどして事務の合理化を図り、交通安全施設の新設、改良、更新を効率的に行う。</p> <p>②交通事故発生箇所を分析等参考にした交通信号機設置、交通安全施設種別の見直し、改善を図る。</p>	<p>①業務の一部外部委託(設計委託)により、工事の早期執行が図られ、効率的な施設整備を達成した。</p> <p>②交通事故発生箇所を分析し、交通安全施設の新設、移設整備を行った。</p>

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)	
<p>○内部要因</p> <p>・交通安全施設整備にかかる知識習得に時間を要し、予算執行体制が十分に確保できないことから安定的な執行体制を確立することが必要である。</p>	<p>○外部環境の変化</p> <p>・道路新設に合わせて迅速かつ適切に交通安全施設を整備するため、道路管理者との綿密な連携を図る必要がある。</p>
(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)	
<p>・業務の合理化に努め、効率的な施設整備を図っていく。</p> <p>・平素から道路管理者と連携を図り、新設道路及び老朽化施設の実態把握に努め、交通安全施設整備計画を策定するなどして、計画的な施設整備を推進していく。</p>	

4 取組の改善案(Action)

<p>・効率的、計画的な施設整備を推進するとともに、交通安全施設の老朽化対策に特化した事業立てを行い、交通安全施設整備の充実強化を図る。</p>
--